


●この説明書は必ず施工される方にお渡し下さい。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

### ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- 本製品は複層ガラスを使用するため、かなりの重量(最大80Kg)がかかります。障子の外れ、倒れ等で思わぬけがをしたり、漏水の原因になるおそれがあります。下記事項をお守りください。
  - ・施工は、重量に見合った人数で行ってください。
  - ・開口部を付け枠等でふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度にしてください。
  - ・窓台は45×105mm以上、窓台下の間柱は柱の2つ割り又は3つ割り材を使用してください。
  - ・開口部の水平・垂直及び取付け面の平面を正確に出して取り付けてください。
  - ・サッシを寝かした状態で、クレセントの解錠を絶対にしないでください。障子が開き、指をはさまれるおそれがあります。
- 下記事項は漏水の原因になるおそれがありますのでお守りください。
  - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
  - ・外壁施工後、枠の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。

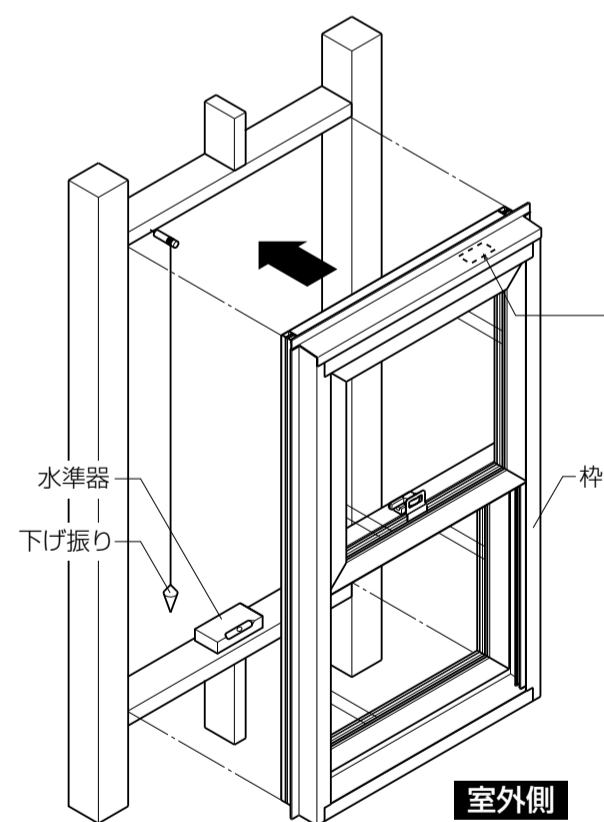
### ■施工上のお願い

- 樹脂の表面は傷つきやすいので、ぶついたり、こすったりしないでください。
  - 樹脂部材をねじ止めする場合は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通するおそれがあります。
  - 障子の複層ガラスは、絶対に外さないでください。
  - 枠と障子は分離せず、一体のままで取り付けてください。
  - 網戸の取付けは、網戸に同梱の説明書をご覧ください。
  - シーリング材はシリコン系、変成シリコン系、ウレタン系が使用できます。ポリサルファイト系はサッシが変色するおそれがありますので、使用しないでください。なお、サッシとの接着性を高めるために、必ず指定のプライマーを使用してください。
- ※清掃が必要な場合は、ノルマルヘキサンを使用してください。それ以外の有機溶剤は使用しないでください。サッシが変色するおそれがあります。


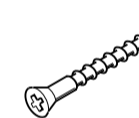
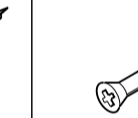
### ■取付け順序

#### ■サッシの固定

- ①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めます。
- ②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、本固定します。



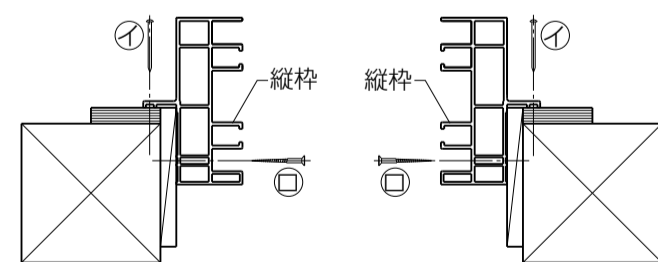
#### ■ねじ一覧表

		
φ3×38スクルー釘 (頭φ8)	φ3.8×56皿木ねじ	φ3.5×20皿木ねじ

#### ●縦断面図

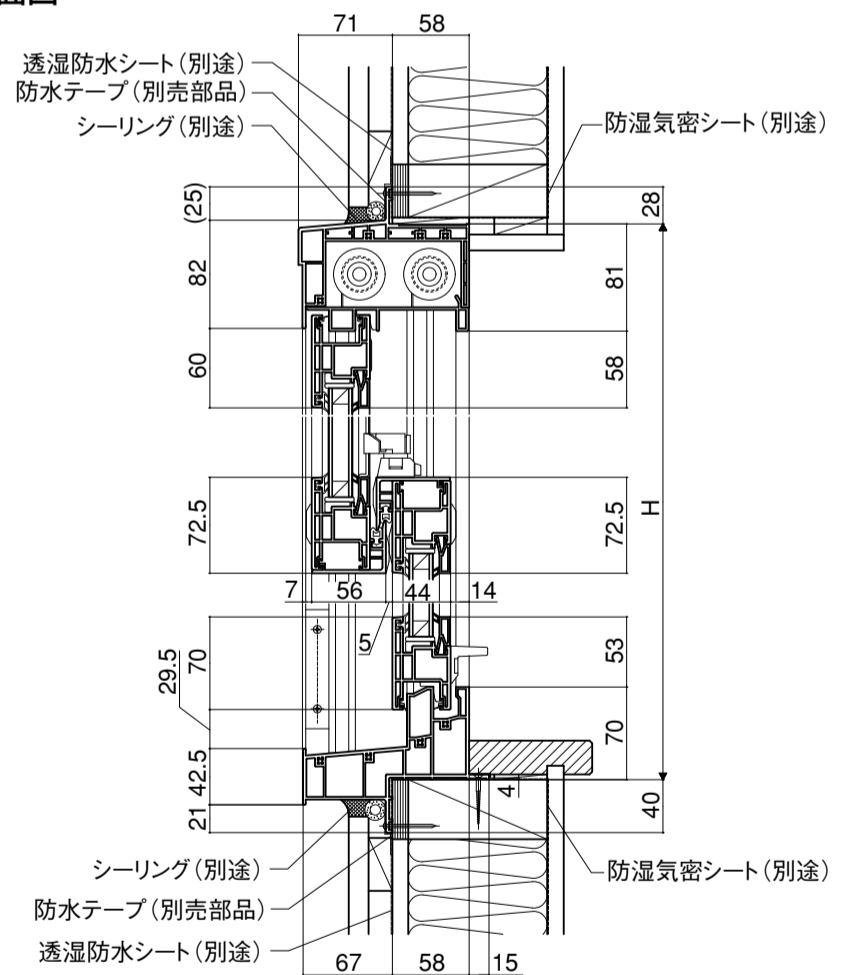
ロットNo.表示位置  
上枠下面内観左側

#### ●横断面図

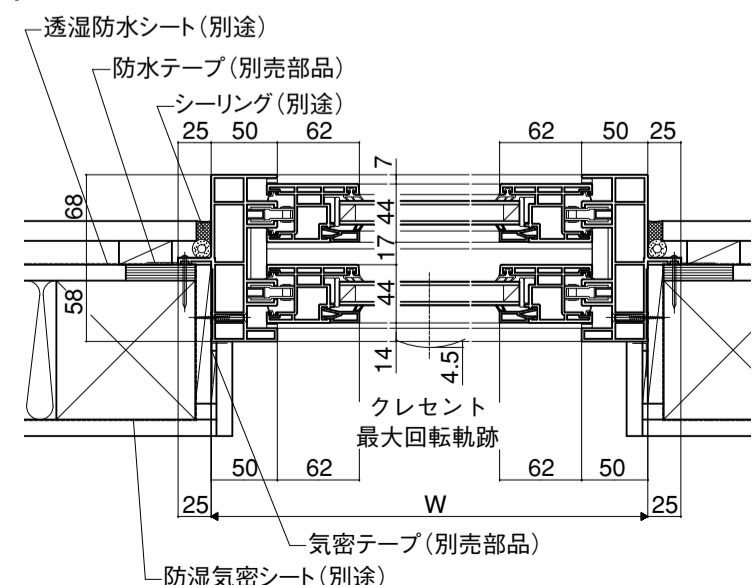


### ■参考納まり図

#### ●縦断面図



#### ●横断面図



### ■クレセントの調整

- サッシ取付け後、クレセントの掛かり具合をプラスドライバーを使用して調整します。
- ※クレセント錠は、左右に各2.5mm、上に2mm、下に3mm移動できます。調整の詳細は、張り付けてある説明ラベルをご覧ください。
- ※ねじキャップを取る場合は、マイナスドライバーを使用してください。

